



piaggero

NP-35 NP-15

取扱説明書

ご使用前に必ず4～8ページの「安全上のご注意」をお読みください。

保証書付き

裏表紙にあります。

このたびは、ヤマハ「Piaggero NP-35 NP-15」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この製品は、スリムで軽量のボディにピアノをイメージした鍵盤と高品位なピアノ音色を搭載し、お好きな場所でお気軽に演奏をお楽しみいただける電子キーボードです。本書をよくお読みになって、この製品に搭載された機能を十分に活用ください。また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

もくじ

はじめに.....	3
◆ 説明書について.....	3
◆ 付属品.....	3
安全上のご注意.....	4
各部の名称.....	10
◆ 上面.....	10
◆ 背面.....	11
準備する.....	12
◆ 電源アダプターを使う.....	12
◆ 電池を使う.....	12
バックアップデータ（電源を切っても保持される設定）と初期化.....	13
◆ バックアップデータ.....	13
◆ 初期化する.....	13
音を楽しむ.....	14
◆ 音色を選んで弾く.....	14
◆ 音色デモ曲を聞く.....	14
音色 / 音色デモ曲リスト.....	15
◆ ピアノデモ曲を聞く.....	16
◆ 音色を重ねる（デュアル）.....	17
◆ デュアルの設定をする.....	17
メトロノームを使う.....	18
◆ メトロノームを鳴らす.....	18
◆ テンポ（速さ）を変更する.....	18
◆ 拍子を設定する.....	18
◆ 鍵盤を使って設定をする.....	19

演奏を録音する.....	20
◆ 録音曲を消去する.....	20
スマートデバイスアプリと一緒に使う.....	21
スマートピアニスト.....	21
Rec'n'Share.....	21
好みに合わせて設定を変える.....	22
リバーブタイプ.....	23
リバーブの深さ.....	23
ダンパーレゾナンス.....	23
タッチ感度.....	23
オクターブシフト.....	23
チューニング.....	25
トランスポーズ.....	25
オーディオループバック.....	25
サウンドブースト.....	25
オートパワーオフ.....	25
設定お知らせ音.....	25
困ったときは.....	26
仕様.....	27
索引.....	28
保証とアフターサービス.....	29
保証規定と保証書.....	31
保証規定.....	31
保証書.....	32

はじめに

◆ 説明書について

この製品には、以下の説明書が用意されています。



製品に付属

• 取扱説明書 (本書)

この製品の基本操作について説明しています。



ウェブサイトで提供

• スマートピアニスト ユーザーガイド

この製品と連携して使用できる、スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスアプリ「スマートピアニスト」(21 ページ)の接続方法や使い方を説明しています。

• コンピューターとつなぐ

製品とコンピューターの接続方法などを説明しています。

• MIDI リファレンス

この製品の MIDI に関する資料です。

上記すべての説明書は、ヤマハのウェブサイトでご覧いただけます。

製品名などを入力して、検索してください。

ヤマハ | 取扱説明書-サポート・お問い合わせ

<https://jp.yamaha.com/support/manuals/>

* [MIDI入門]と入力すると、MIDIの基礎知識を説明した資料を確認できます。



表記について

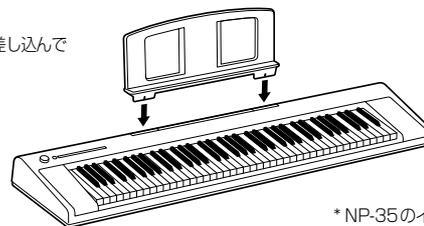
 警告	「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	「傷害を負う可能性が想定される」内容です。
ご注意	「製品の故障、損傷や誤動作、データの損失の発生が想定される」内容です。
	使用時の注意点や補足情報です。
[]	この製品のボタンや端子を示しています。

◆ 付属品

- 取扱説明書 (本書) × 1
保証書が裏表紙に付いています。
- 電源アダプター × 1
- 製品登録のご案内 × 1
- 譜面立て × 1

譜面立ての取り付け方

本体パネルの溝に差し込んでお使いください。



* NP-35のイラストです。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様のご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。



注意喚起を示す記号



禁止を示す記号



行為を指示する記号

■ 「警告」「注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

警告

電源



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。
また、電源コードに重いものをのせない。
電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



禁止

雷が鳴っているときは、本製品や電源プラグに触らない。
感電の原因になります。



必ず実行

電源は必ず交流100Vを使用する。
エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、火災、感電、または故障の原因になります。



必ず実行

電源アダプターは、必ず付属のものを使用する。また付属の電源アダプターをほかの機器に使用しない。
火災、やけど、または故障の原因になります。



必ず実行

電源プラグを定期的に確認し、ほこりが付着している場合はきれいに拭き取る。
ショートして火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む。
差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積したりして火災ややけどの原因になります。



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。電源を切った状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。



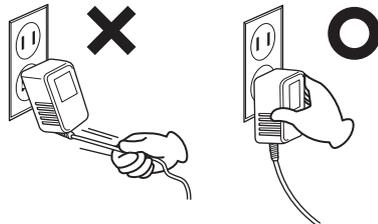
禁止

たこ足配線をしない。
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱したりして火災の原因になります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



電源プラグを抜く

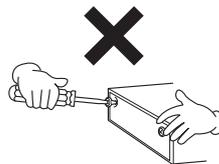
長期間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
火災や故障の原因になります。

分解禁止



禁止

本製品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。本製品の内部には、お客様が修理や交換できる部品はありません。



水に注意



禁止

- ・浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところや水がかかるところで使用しない。
- ・本製品の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
- ・電源アダプターは、室内専用のため屋外では使用しない。
内部に水などの液体が入ると、火災や感電、または故障の原因になります。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

本製品の近くで、火気を使用しない。
火災の原因になります。

電池



禁止

- ・電池を火の中に入れない。
 - ・電池を下記の場所に置かない。
 - 直射日光のあたる場所(日中の車内など)や火の近くなど極端に温度が高くなるところ
 - 温度や気圧が極端に低いところ
 - ほこりや湿気の多いところ
- 破裂により、火災やけがの原因になります。



禁止

- ・指定(12ページ)以外の電池を使用しない。
- ・電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。
- ・種類の異なる電池を一緒に使用しない。
- ・+/-の極性表示とは異なった方向に電池を入れない。
- ・電池を分解しない。
- ・長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池を本体に入れたままにしない。
- ・使い切りタイプの乾電池は充電しない。

電池から液漏れが発生し、液に触れると失明や化学やけどなどのおそれがあります。また、本体の損傷の原因にもなります。



禁止

電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。
液に触れると失明や化学やけどなどのおそれがあります。万一液が目や口に入ったり皮膚についたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。



必ず実行

充電式電池を使用する場合は、電池のマニュアルの指示に従い、指定された充電器、指定された温度の範囲内で充電する。
誤った充電は、液漏れ、発熱、破裂、故障の原因になります。



必ず実行

電池の取り付け、取り外しについては、本書を必ず読み、記載されている内容に従う。
従わない場合、火災、発熱、破裂、故障の原因になる可能性があります。



禁止

電池は乳幼児の手の届くところに置かない。
お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。



禁止

電池を落としたり、強い衝撃を与えたりしない。
火災・感電・故障の原因になります。



必ず実行

電池を意図的にショートさせない。

電池が破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池と金属片と一緒にポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。

電池がショートし、破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。



必ず実行

乾電池を保管する場合および廃棄する場合には、テープなどで端子部を絶縁する。

他の電池や金属製のものと混ぜると、火災、やけど、または液漏れによる炎症の原因になります。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。電池を使用している場合は、電池を本製品から抜く。

- ・電源コード/プラグが破損した場合
- ・製品から異常なおみや煙が出た場合
- ・製品の内部に水や異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合
- ・製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または29ページのヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

注意

設置



禁止

不安定な場所や振動の多い場所に置かない。

本製品が転倒して故障したり、けがをしたりする原因になります。



必ず実行

本製品を移動するときは、必ずすべての接続ケーブルを外した上で行う。

ケーブルをいためたり、お客様やほかの方々が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

指定のスタンドを使用する。また、付属のネジがある場合は必ずそれを使用する。

本製品が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

接続



必ず実行

ほかの機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ずすべての機器の音量(ボリューム)を最小にする。

聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になります。



必ず実行

演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。

聴覚障害または機器の損傷の原因になります。

取り扱い



禁止

本製品のパネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

火災、感電、故障や動作不良の原因になります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損したり、お客様やほかの方がけがをしたりする原因になります。



禁止

大きな音量で長時間使用しない。

聴覚障害の原因になります。特にヘッドホンを使用する場合はご注意ください。万一、聴力低下や耳障りを感じた場合は、専門の医師にご相談ください。



必ず実行

本製品のお手入れをするときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電の原因になります。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

[Ⓛ](スタンバイ/オン)スイッチを切った状態(ボタンのランプがすべて消灯している)でも微電流が流れています。[Ⓛ](スタンバイ/オン)スイッチが切れているときの消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

ご注意

「製品の故障、損傷や誤動作、データの損失の発生が想定される」内容です。以下の内容をよく読んでお使いください。

■ 製品の取り扱いに関する注意

- ・テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。
- ・スマートフォン、タブレット端末などのスマートデバイスのアプリと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためスマートデバイスの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
- ・使用環境により、強い電波の影響を受けると、まれに製品が誤動作することがあります。
- ・直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本体が変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります（5℃～40℃の範囲で動作することを確認しています）。
- ・本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体が変色/変質する原因になります。

■ 製品のお手入れに関する注意

お手入れの際は、乾いた柔らかい布、または水を含ませた柔らかい布を固くしぼってご使用ください。ベンジンやシンナー、アルコール、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。

■ データの保存に関する注意

- ・この製品の一部のデータ（13 ページ）は自動的に保存され、電源を切っても消えません。ただし保存されたデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。

お知らせ

■ データの著作権に関するお願い

- ・この製品に搭載されている「コンテンツ」*1の著作権は、ヤマハ(株)もしくはその著作権者に帰属します。私的使用のための複製など著作権法上認められている場合を除いて、権利者に無断で「複製または転用」*2することは禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。なお、製品本来の使用を通して、上記コンテンツを使用した音楽制作や演奏を行い、それらを録音して配布する場合、配布方法が有償、無償を問わずヤマハ(株)の許諾は必要ありません。

*1：「コンテンツ」には、コンピュータプログラム、サウンドデータ、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどを含みます。

*2：「複製または転用」には、この製品に内蔵または同梱されたコンテンツそのものを取り出すこと、もしくは酷似した形態で記録/録音して配布することを含みます。

■ 製品に搭載されている機能/データに関するお知らせ

- ・内蔵曲は、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。

■ 製品の外観について

製品に線やキズが入っているように見える場合があります。これはケースを成型する際に現れる線（ウエルドライン）であり、ヒビやキズではありません。製品の使用上まったく問題ありません。

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- ・この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて説明のためのものです。
- ・鍵盤イラストは NP-35 と NP-15 の鍵盤を併記しています。
- ・Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。ヤマハ株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。
- ・MIDIは社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。
- ・本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

■ 廃棄に関するお知らせ

- ・本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。
- ・使用済みの電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄してください。

機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをおすすめします。

機種名

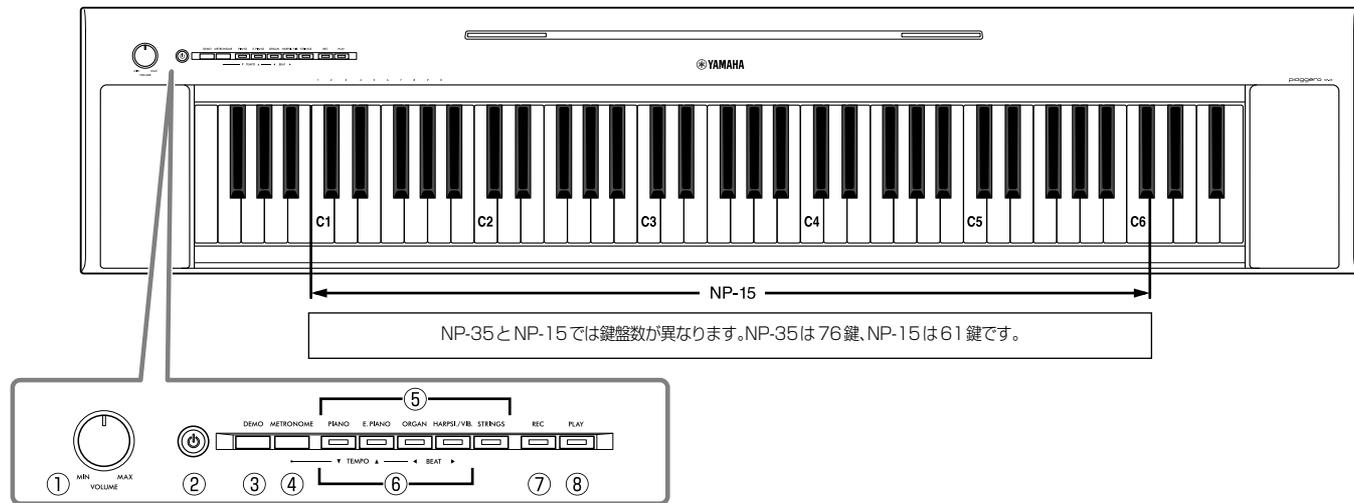
製造番号

(1003-M06 plate bottom ja 01)

各部の名称

◆ 上面

* NP-35のイラストです。

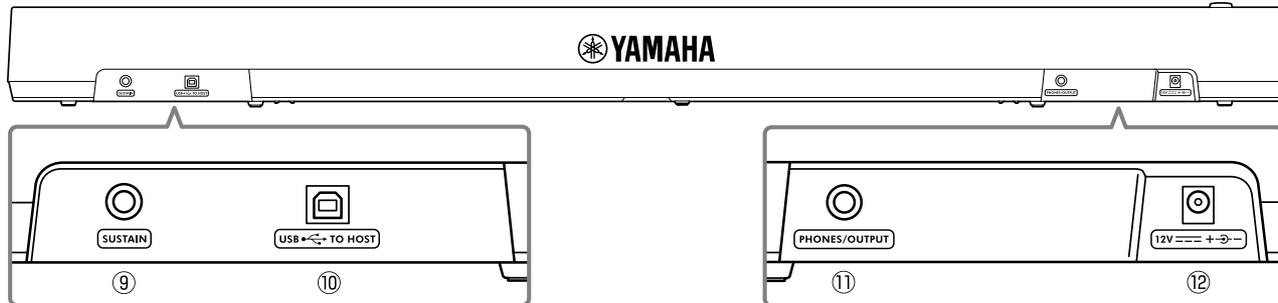


- ① ボリューム [VOLUME]
音量を調節します。左 [MIN] に回すと音が小さくなり、右 [MAX] に回すと音が大きくなります。
- ② [⏻] (スタンバイ/オン)
電源のスタンバイ/オンを切り替えます。電源を入れる (オンにする) とときは、音量を最小にしてください。
ボタンを押すと [PIANO] のランプが点灯し、電源が入ります。1 秒ほどボタンを押してから離すと、ボタンのランプがすべて消灯し、電源が切れます。

- ③ デモ [DEMO] … 14 ページ
- ④ メトロノーム [METRONOME] … 18 ページ
- ⑤ 音色ボタン … 14 ページ
- ⑥ テンポ [▼] TEMPO [▲]、ビート [◀] BEAT [▶] … 18 ページ
- ⑦ レコード [REC] … 20 ページ
- ⑧ プレイ [PLAY] … 20 ページ

◆ 背面

* NP-35のイラストです。



⑨ サステイン [SUSTAIN]

別売のフットペダルFC3AやフットスイッチFC4A/FC5(27ページ)を接続します。接続したフットペダルまたはフットスイッチを踏むことで音を伸ばし、響かせることができます。

ハーフペダル機能

フットペダルFC3Aを接続したとき、この機能が使えます。ペダルの踏み加減で音の伸び具合を調節できる機能です。ペダルを踏んで音が響きすぎたとき、踏み込んだ状態からペダルを少し戻して音の響きを抑える(音の濁りを減らす)ことができます。フットスイッチFC4A/FC5を接続したときは、この機能は使えません。



- 接続または外すときは電源を切ってください。
- フットペダルまたはフットスイッチを踏んだまま電源を入れないでください。フットペダルまたはフットスイッチのオン/オフが逆になります。

⑩ ユーエスビー トゥー ホスト [USB TO HOST]

市販のUSBケーブルを使ってコンピューターと接続します。接続すると、MIDIとオーディオの通信ができます。詳しくはウェブサイト上の「コンピューターとつなぐ」(本書3ページで紹介)をご覧ください。

ご注意 USBケーブルは3m未満のABタイプをご使用ください。USB3.0ケーブルは使えません。

⑪ フォーンズ / アウトプット [PHONES/OUTPUT]

ヘッドホン(ステレオ標準フォーンプラグ)やオーディオ機器を接続します。これらの外部機器を接続するとこの製品のスピーカーから音が出なくなります。

変換プラグ(ステレオ標準プラグ):
6.35 mm



ステレオミニプラグ:
3.5 mm

- ヘッドホンは別売です。
- ステレオミニプラグのヘッドホンの場合、変換プラグ(ステレオ標準プラグ)をご使用ください。

**注意**

外部機器と接続するときは、すべての機器の電源を切ったうえで行ってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にしてください。感電、聴覚障害または機器の損傷の原因になります。

ご注意

外部機器の損傷を防ぐため、電源の入/切は以下の順で行ってください。
電源を入れる：この製品 → 外部機器
電源を切る：外部機器 → この製品

⑫ ディジー イン DC IN端子… 12ページ

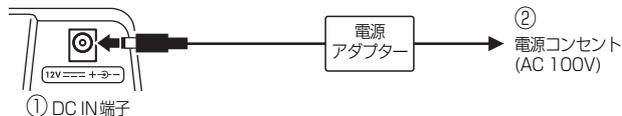
準備する

警告 はじめに必ず「安全上のご注意」の「電源」(5 ページ)、「電池」(6 ページ)をご確認ください。誤った取り扱いをすると、故障、発熱、火災などの原因になります。

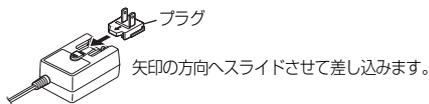
この製品の電源には電源アダプターか電池を使用できますが、環境に配慮し、電源アダプターのご使用をおすすめします。

◆ 電源アダプターを使う

下図①②の順で電源アダプターを接続します。電源アダプターを外すときは、電源を切り、②①の順で外してください。



- 警告**
- 電源アダプターは、必ず付属のもの(27 ページ)をご使用ください。付属以外のものを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証できない場合がありますので、十分ご注意ください。
 - プラグが外れるタイプの電源アダプターは、必ずプラグを装着した状態で使用、または保管してください。プラグ部分だけをコンセントに差し込むと、感電や火災の原因になります。
 - プラグが外れた場合は、内部の金具に触れないように注意して、カチッと音がするまで差し込んでください。感電やショート、故障の原因になりますので、異物が入らないようにご注意ください。



◆ 電池を使う

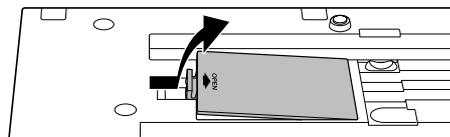
(市販の単3電池6本をご用意ください)

使用できる電池：アルカリ乾電池、充電式ニッケル水素電池(充電電池)、マンガン乾電池



- 充電電池はこの製品で充電できないため、必ず専用の機器で充電してください。
- 電源アダプターをこの製品に接続すると、電池が入っている状態でもアダプターから電源が供給されます。
- 大きな電力を消費する場合がありますので、アルカリ乾電池、または充電電池のご使用をおすすめします。

- 1 電源が切れていることを確認してください。
- 2 柔らかい布などの上にこの製品を裏返して置き、底面の電池カバーを外します。



* NP-35のイラストです。

- 3 電池カバー横にあるイラストに向きを合わせ、電池を6本入れます。
- 4 電池カバーを閉めます。

ご注意

- 電池残量が少なくなると正常に動かなくなることがあります。その場合、すべての乾電池を交換するか、充電電池を充電してください。
- 電池で使用しているときに電源アダプターを抜き差しすると、電源が切れることがあります。電源が切れると録音中のデータが失われますので、ご注意ください。

バックアップデータ (電源を切っても保持される設定) と初期化

◆ バックアップデータ

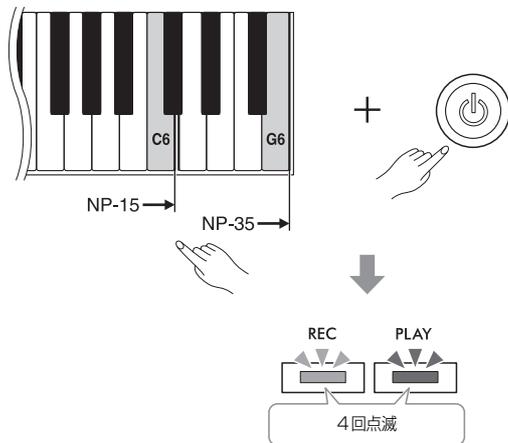
以下の項目は、[♭] (スタンバイ/オン) で電源を切ると自動的にバックアップされます。電源を切っても設定した内容と録音曲は消えません。

- メトロノーム拍子 / 音量 (18、19 ページ)
- タッチ感度 (23 ページ)
- オートパワーオフ (25 ページ)
- * テンポ (速さ) はバックアップされません。
- チューニング (25 ページ)
- 設定お知らせ音 (25 ページ)
- 録音曲 (20 ページ)

ご注意 下記の状況で電源が切れたときはバックアップが実行されず、設定した内容と録音曲が失われますので、ご注意ください。

- 電源が入っている状態で、電源アダプターを抜いたとき
- 停電などで突然電源が切れたとき
- 電池を使用していて、消耗して電源が切れたとき

◆ 初期化する



右端の鍵盤を押したまま電源を入れます。

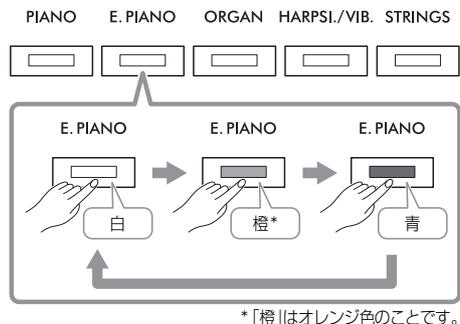
バックアップデータと録音曲のデータが消えて工場出荷時の状態に戻ります (初期化)。



この製品が誤動作したときは、電源を切り初期化してください。

音を楽しむ

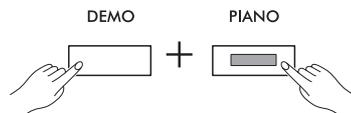
◆ 音色を選んで弾く 15種類の楽器音(音色)からお好みの音色を選んで鍵盤を演奏できます。



弾きたい音色の音色ボタンを押します。

各音色ボタンに、3つの音色が割り当てられています。同じボタンを押すたびに音色が順に切り替わり、ボタンのランプの色が変わります。ボタンごとの音色の割り当ては、15ページの音色リストでご確認ください。

◆ 音色デモ曲を聞く 音色ごとの特徴を表したデモ曲が聞けます。



[DEMO] を押したまま聞きたい音色の音色ボタンを押します。

その音色のデモ曲から順に再生されます。再生中にもう一度同じ音色ボタン、もしくはほかの音色ボタンを押すとデモ曲が切り替わります。再生中に [DEMO] を押すと停止します。



- [DEMO] だけを押しと「コンサートグランド」の音色から順にデモ曲が再生されます。
- 再生中にテンポを変更することもできます。設定方法はメトロノームと同じです(18、19ページ)。

音色/音色デモ曲リスト

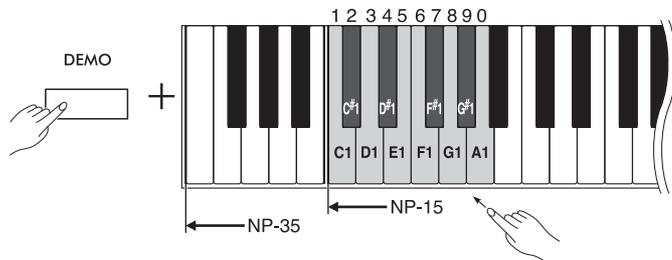
音色ボタン	ランブ色	音色名	リバーブタイプ	ダンパーレゾナンス	音色の特長	音色デモ曲
PIANO	白	コンサートグランド	ホール1	○	フルコンサートグランドピアノからステレオサンプリングしたこの音色は、弱いタッチから強いタッチまでのなめらかな音色変化が表現できます。クラシックはもちろん、どんなジャンルのピアノ曲にも合います。	オリジナル
	橙	メロウグランド	ホール1	○	柔らかい響きのグランドピアノです。ゆったり癒しのジャズバラードにも合います。	オリジナル
	青	ブライトグランド	ホール1	○	明るくクリアな音色のグランドピアノです。ポピュラー音楽に最適です。	オリジナル
E.PIANO	白	DXエレピ	ステージ	-	FMシンセサイザーによる電子ピアノの音です。さらびやかで澄んだ音色が特徴です。	オリジナル
	橙	ステージエレピ	ステージ	-	音叉のような金属片をハンマーでたたいて発音する電気ピアノの音色です。弱く弾いたときは柔らかく、強く弾くと芯のある音がします。	オリジナル
	青	ピンテージエレピ	ステージ	-	薄いリード状の振動板をハンマーでたたいて発音する電気ピアノの音色です。ソウル、ポピュラー音楽に使われています。	オリジナル
ORGAN	白	オルガンプリンシパル	ホール3	-	パイプオルガンのプリンシパル系(金管楽器系)の混合音栓の音(8フィート+4フィート+2フィート)です。バロック時代の教会音楽の演奏に適しています。	オルガン小曲集「神のひとり子なる主キリスト」 BWV 601 (J. S. バッハ)
	橙	オルガントウッティ	カテドラル	-	バッハの「トッカータとフーガ」で有名なパイプオルガンのフルカプラーの音色です。	オリジナル
	青	ジャズオルガン	ルーム	-	エッジのきいた温かい音がする電気オルガンの音色です。ジャズ、ロックなどの音楽でよく用いられます。	オリジナル *ステージエレピとの2音色のアンサンブル曲です。
HARPSI./VIB.	白	ハーブシコード8'	ルーム	○	バロック音楽でよく使われる鍵盤楽器の音です。タッチによって音量は変わらず、鍵盤を離れたときには独特の発音があります。	チェンバロ協奏曲 第7番 BWV 1058 (J. S. バッハ)
	橙	ハーブシコード8'+4'	ルーム	○	オクターブ上の音がミックスされたハーブシコードの音です。より華やかさが感じられます。	フランス組曲 第5番 ズーグ BWV 816 (J. S. バッハ)
	青	ビブラフォン	ステージ	-	音板下の共鳴管にはねを取り付け回転させて音のふるえを作り出しているビブラフォンです。比較的柔らかいマレットでたたいた音色です。	オリジナル
STRINGS	白	ストリングス	ホール3	-	ステレオサンプリングでリアルな響きがする弦楽アンサンブルの音です。ピアノとのデュアルでも楽しめます。	オリジナル
	橙	ストリングスパッド	ホール2	-	広がりのある弦楽アンサンブルの音です。ピアノや電子ピアノとのデュアルに向いています。	オリジナル *コンサートグランドとの2音色のアンサンブル曲です。
	青	シンセパッド	ホール2	-	温かくメローで広がりのあるシンセ音です。アンサンブルのバックの通奏音に最適です。	オリジナル *コンサートグランドとの2音色のアンサンブル曲です。

「オリジナル」は、ヤマハのオリジナル曲です(©Yamaha Corporation)。その他のデモ曲は、原曲を編集/抜粋したもので、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。「リバーブタイプ」、「ダンパーレゾナンス」については23ページをご覧ください。

◆ ピアノデモ曲を聞く

本体内蔵の「コンサートグランド」の音色(15ページ)を使った10種類のピアノデモ曲が聞けます。

(1~0はこの製品の上面に書かれています)



[DEMO]を押したまま聞きたい曲の番号(下記参照)に該当する鍵盤を押します。選んだ曲から順に再生します。再生中に[DEMO]を押すと停止します。



再生中にテンポを変更することもできます。設定方法はメトロノームと同じです(18、19ページ)。

NP-35 ピアノデモ曲

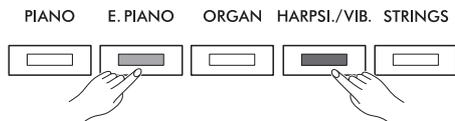
No.	曲名	作曲家
1	ノクターン 第2番 変ホ長調	F. F. ショパン
2	幻想即興曲	F. F. ショパン
3	ピアノソナタ 第15番 第1楽章 K.545	W. A. モーツァルト
4	トルコ行進曲(ピアノソナタ 第11番 K.331 より)	W. A. モーツァルト
5	エリーゼのために	L. v. ベートーヴェン
6	トロイメライ	R. シューマン
7	アラバスク 第1番	C. A. ドビュッシー
8	愛の夢 第3番	F. リスト
9	エンターテイナー	S. ジョブリン
0	ジユトゥヴ	E. サティ

NP-15 ピアノデモ曲

No.	曲名	作曲家
1	ピアノソナタ 第15番 第1楽章 K.545	W. A. モーツァルト
2	トルコ行進曲(ピアノソナタ 第11番 K.331 より)	W. A. モーツァルト
3	前奏曲(平均律クラヴィーア曲集第1巻第1番)	J. S. バッハ
4	メヌエット 長調 BWV Anh. 114	J. S. バッハ
★5	トロイメライ	R. シューマン
6	楽興の時 作品94 第3番	F. P. シューベルト
7	ワルツ 第9番 告別	F. F. ショパン
8	アリエッタ	E. H. グリーグ
★9	ジユトゥヴ	E. サティ
0	貴婦人の乗馬	J. F. フルグミュラー

★印の曲をNP-15を使って弾く場合は、オクターブシフトを「-1」に設定してください(23ページ)。

◆ 音色を重ねる (デュアル) 2つの音色を重ねて演奏できます。



重ねたい音色をあらかじめ選んでおき、2つの音色ボタンを同時に押します。

音色ボタンを1つ押すとデュアルは解除されます。

デュアルのとき、2つの音色ボタンのうち、左側のボタンで選んだ音色が第1音色、右側のボタンで選んだ音色が第2音色となります。この製品単体の操作では、同じ音色ボタンに入っている音色を重ねることはできません。



- ランプの色により、選ばれている音色が確認できます(15ページ)。
- デュアルのとき、第1音色のリバーブタイプが優先されます。
- スマートデバイスアプリ「スマートピアニスト」(21ページ)から設定するときは、同じ音色ボタンの音色を重ねることができます。

◆ デュアルの設定をする

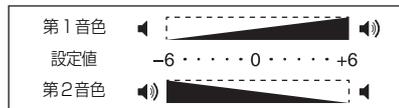
デュアルのとき、[METRONOME] を押したまま下図のと通りの鍵盤を押すと、**A**、**B** の設定が変更できます。

A 第1、第2音色の音量バランス

2つの音色の音量バランスを変更します。

設定範囲: -6 ~ +6

初期設定 (F#4): 音色の組み合わせごとに最適な設定



例) 第2音色を大きくするときは「F4」、小さくするときは「G4」を押す

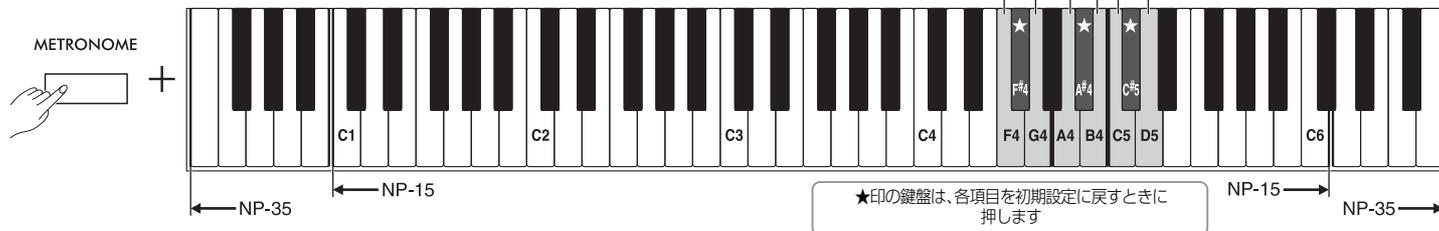
B 第1、第2音色のオクターブシフト

2つの音色のオクターブを変更します。第1音色、第2音色をそれぞれ別に設定できます。

設定範囲: -1 ~ +1

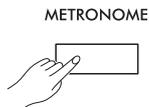
初期設定: 音色の組み合わせごとに最適な設定

オクターブシフトと重ねて設定できます。(23ページ)



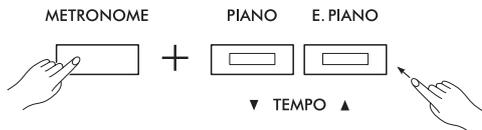
メトロノームを使う

◆メトロノームを鳴らす



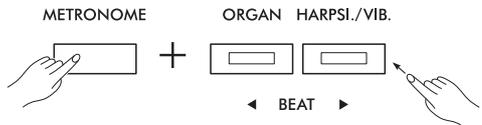
[METRONOME] を押すとメトロノームが鳴ります。
メトロノームは現在のテンポや拍子(下記)に合わせて鳴ります。
もう一度押すと停止します。

◆テンポ(速さ)を変更する



メトロノームが鳴っているときに [METRONOME] を押したまま [▼] または [▲] を押します。
[▼][▲] を同時に押すと初期設定に戻ります。
鍵盤を使ってテンポを変更することもできます(19 ページ 図 A、B 参照)。
設定範囲: 32~280(初期設定: 120)

◆拍子を設定する



メトロノームが鳴っているときに [METRONOME] を押したまま [◀] または [▶] を押します。
設定した拍子の 1 拍目でチーンと鳴ります。たとえば、3 拍子に設定するとチーン、カチ、カチと鳴ります。
[◀][▶] を同時に押すと初期設定に戻ります。
鍵盤を使って設定することもできます(19 ページ 図 C 参照)。
設定範囲: 0(拍子なし: 初期設定)、2、3、4、5、6 拍子

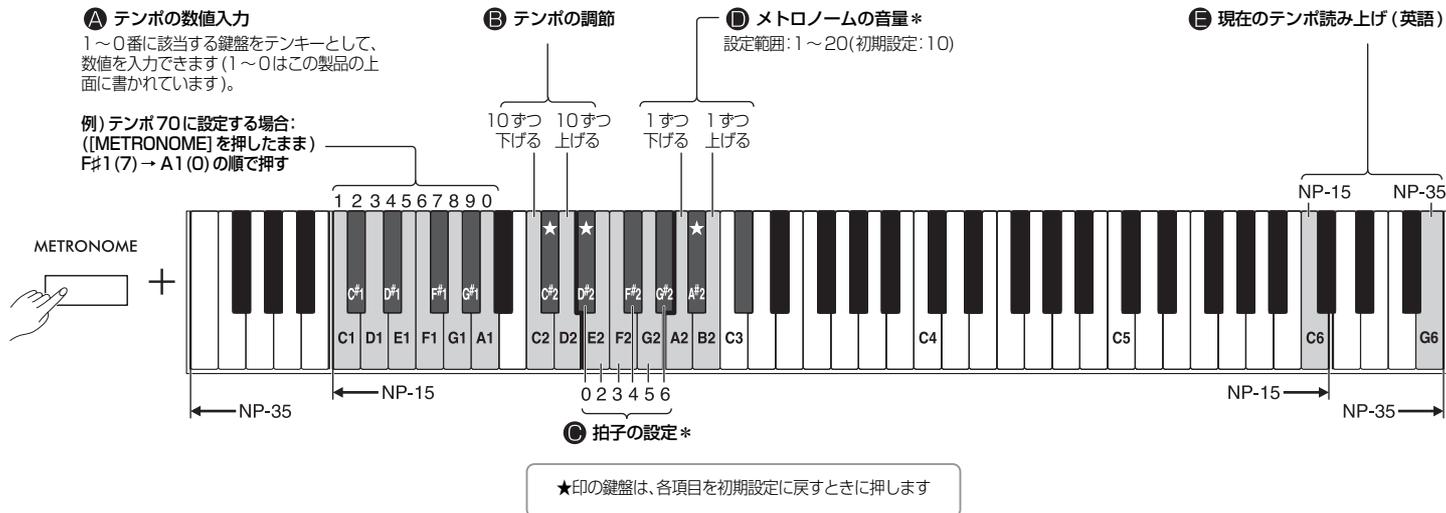


- 曲の再生中にメトロノームを鳴らすと、曲ごとにあらかじめ設定されているテンポや拍子に合わせて鳴ります。曲を停止すると、メトロノームのテンポや拍子は曲の再生前に戻ります。
- 電源を切るとテンポは初期設定に戻ります。拍子はバックアップ(13 ページ)されるため、電源を切っても設定が保持されます。

◆ 鍵盤を使って設定をする

[METRONOME]を押したまま下図で指定の鍵盤を押すと、メトロノームに関する **A**～**E** の設定ができます。

「*」が付いている項目は、バックアップ(13ページ)されます。



演奏を録音する

演奏を1曲録音できます。あらかじめ音色などを設定してから録音してください。録音開始後には設定できません。

- ご注意**
- 録音済みの曲があるときは[PLAY]ランプが点灯します。[PLAY]ランプ点灯時に録音すると、前に録音された曲は消去されます。
 - 録音後は、必ず[⏻](スタンバイ/オン)で電源を切ってください。電源アダプターを抜くなどして突然電源が切れると(13ページ)、録音曲は失われますので、ご注意ください。



[REC] を押します。

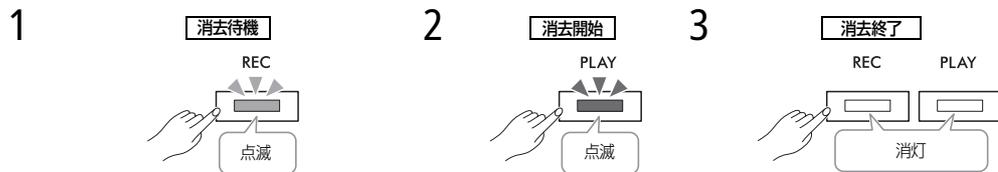
鍵盤を弾きます。
[PLAY] を押して録音を開始することもできます。

[REC] を押します。

[PLAY] を押します。
もう1度押すと再生が停止します。

-  • 1回で録音できる容量は60キロバイト(約7,000音符)です。容量がいっぱいになると自動的に録音を終了しますが、それまでの演奏は保存されます。
• メトロノームを鳴らしながら録音してもメトロノームの音は録音されません。

◆ 録音曲を消去する



[REC] を押します。
もう一度押すと消去を中止できます。

[PLAY] を押します。

[REC] を押します。

スマートデバイスアプリと一緒に使う

スマートフォン、タブレット端末などのスマートデバイスとこの製品を接続することで、以下のアプリ(無料)を活用できます。



スマートピアニスト

この製品に搭載されたさまざまな機能を、スマートデバイスの画面上で簡単に操作できます。

製品とスマートデバイスの接続方法や、アプリの使い方については、「スマートピアニスト ユーザーガイド」をご覧ください。
<https://manual.yamaha.com/mi/app/smartpianist/>



別売のワイヤレスMIDIアダプター (UD-BT01) を使って接続する場合、オーディオデータの通信はできません。



Rec'n'Share

演奏の撮影、録音、編集から、SNSなどへのアップロードまで、簡単に行うことができます。

この製品とスマートデバイスとの接続には、市販のUSBケーブル (ABタイプで3 m未満) とスマートデバイスのコネクタ形状に合った変換アダプターが必要です。



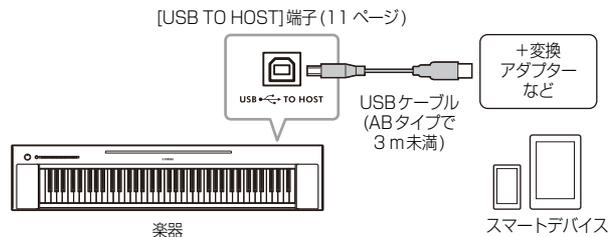
ワイヤレスMIDIアダプター (UD-BT01) を使った接続はできません。

アプリやアプリに対応するスマートデバイスの詳細は、下記ウェブサイトでご確認ください。

<https://www.yamaha.com/2/kbdapps/>

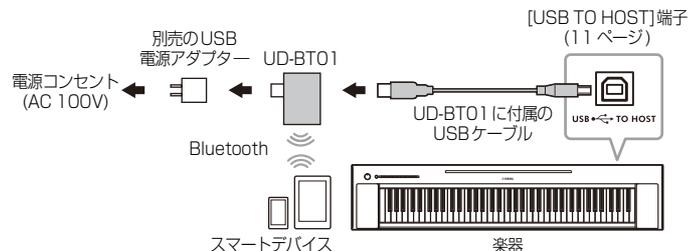


市販のUSBケーブルを使った接続例



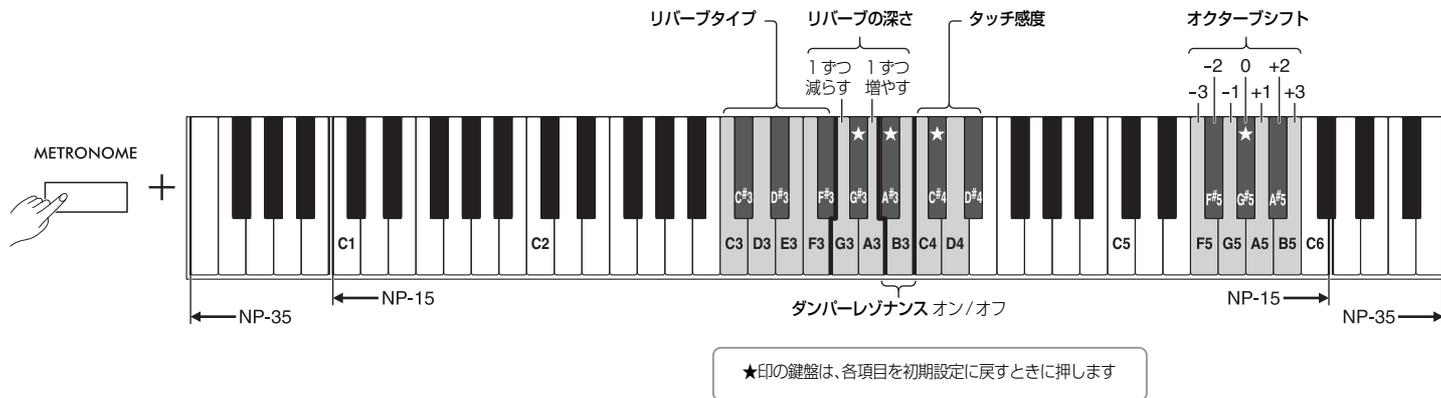
別売の「UD-BT01」を使った接続例 (「スマートピアニスト」のみ)

* オーディオデータの通信はできません。



好みに合わせて設定を変える

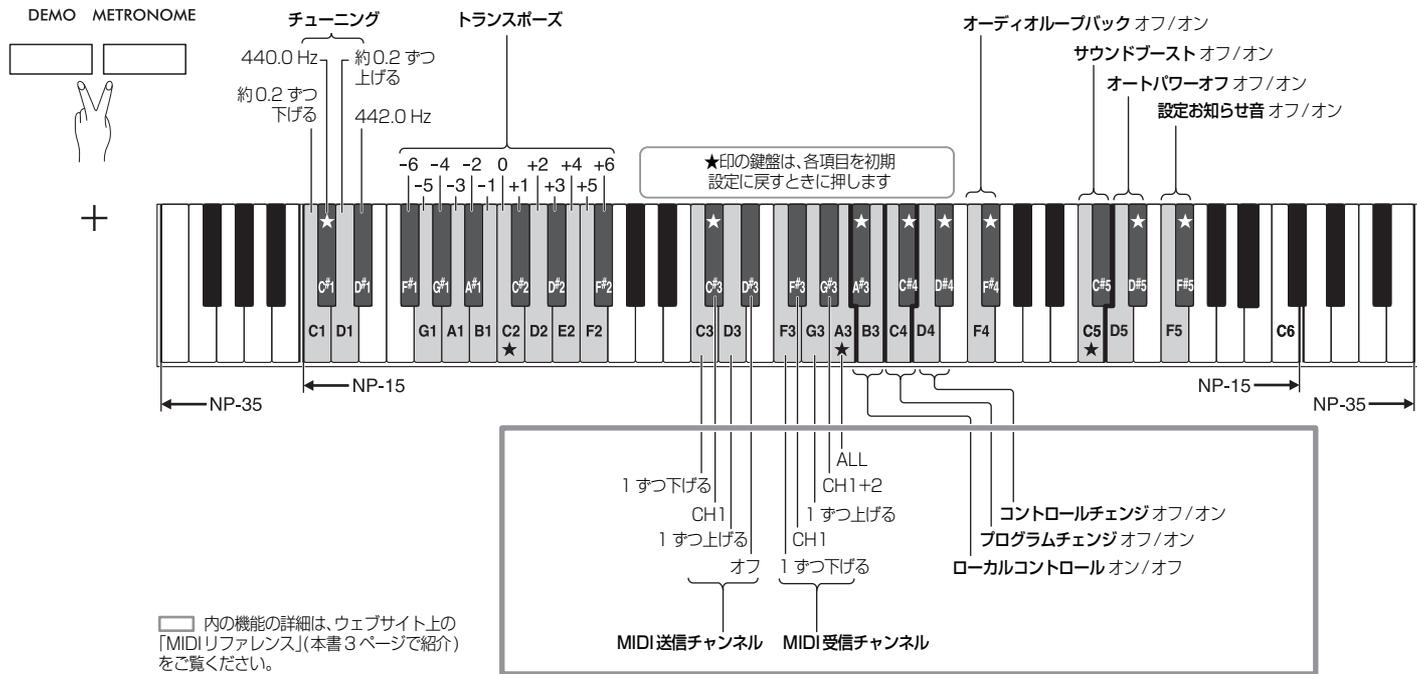
ボタンと鍵盤を使っているいろいろな設定ができます。[METRONOME]、または[DEMO]と[METRONOME]を押したまま指定の鍵盤を押して設定します。設定すると「設定お知らせ音」(25 ページ)が鳴ります。



「*」が付いている項目は、バックアップ(13 ページ)されます。

項目	説明	初期設定	鍵盤	設定内容
リバーブタイプ	リバーブ(残響効果)のタイプを変更します。  リバーブタイプはあらかじめ音色ごとに最適な状態に設定されています。各音色の初期設定は、15 ページをご覧ください。	各音色に最適な設定	C3	ホール1:リサイタルホールの響き
			C#3	ホール2:コンサートホールの響き
			D3	ホール3:大きなコンサートホールの響き
			D#3	カテドラル:大聖堂の響き
			E3	ルーム:部屋の響き
			F3	ステージ:ライブステージの響き
			F#3	オフ:リバーブなし
リバーブの深さ	リバーブのかかり具合を調節します。 設定範囲:0~10	各音色に最適な設定	G3	1 ずつ減らす
			G#3	初期設定にする
			A3	1 ずつ増やす
ダンパーレゾナンス	アコースティックピアノでダンパーペダルを踏んだ際の響板や弦の共振効果をオン/オフします。  効果が付加されている音色については、15 ページをご覧ください。ペダルを使って弾く場合は、別売のペダルを接続してください(27 ページ)。接続したペダルを踏むことにより、音を伸ばし響かせる(SUSTAIN)効果に加えて、オンのときはダンパーレゾナンスの効果もかかります。	オン	A#3	オン
			B3	オフ
タッチ感度*	鍵盤を弾く強さに対して鳴る音の強弱を設定します。鍵盤の重さは変わりません。  オルガンプリンシパル、オルガントウッティ、ジャズオルガン、ハーブシコード8'、ハーブシコード8'+4'は、タッチによる強弱はつきません。	ミディアム	C4	ソフト:軽いタッチで大きい音を出すことができる
			C#4	ミディアム:標準的なタッチ
			D4	ハード:強いタッチで弾かないと大きい音が出にくい
			D#4	固定:タッチの強弱にかかわらず一定の音量が出る
オクターブシフト	鍵盤全体のオクターブを変更します。 設定範囲:-3~+3  デュアルになっているときは、第1、第2音色オクターブシフトと重ねて設定できます(17 ページ)。	0	F5~G5	オクターブを下げる
			G#5	0
			A5~B5	オクターブを上げる

好みに合わせて設定を変える



「*」が付いている項目は、バックアップ(13 ページ)されます。

項目	説明	初期設定	鍵盤	設定内容
チューニング*	鍵盤全体の音の高さを微調整します。他の楽器との合奏やオーディオデータ再生に合わせて演奏するときなどに、それらのピッチ(音の高さ)とこの製品のピッチを合わせられます。 設定範囲: 414.8 Hz ~ 466.8 Hz	440.0 Hz	C1	約 0.2 Hz ずつ下げる
			C#1	440.0 Hz
			D1	約 0.2 Hz ずつ上げる
			D#1	442.0 Hz
トランスポーズ	半音単位で移調します。他の楽器や歌う人の声の高さにキー(調)を合わせられます。 例)「+5」に設定したときに「ド(C)」を弾くと「ファ(F)」の音が鳴り、「八長調」の弾きかたで、「へ長調」の演奏ができます。 設定範囲: -6 ~ +6	0	F#1 ~ B1	キーを下げる
			C2	0
			C#2 ~ F#2	キーを上げる
オーディオループバック	[USB TO HOST] 端子で接続したコンピューターやスマートデバイスからのオーディオ入力音を、この製品での演奏音と一緒に、コンピューターやスマートデバイスに出力する機能をオン/オフします。 たとえば、音楽制作用アプリを使って、この製品での演奏音だけでなく製品へ入力したオーディオ再生音も録音したい場合はオンに、この製品での演奏音だけを録音したい場合はオフにします。	オン	F4	オフ: 出力しない
			F#4	オン: 出力する
サウンドブースト	楽器の音量感をアップさせる機能をオン/オフします。	オフ	C5	オフ: 無効にする
			C#5	オン: 有効にする
オートパワーオフ*	何も操作しない状態が 15 分続くと自動的に電源が切れる機能をオン/オフします。 オンにすると、電源の切り忘れによる無駄な電力消費を防ぐことができます。  電源が切れた状態で最低音の鍵盤を押したまま電源を入れても、オートパワーオフがオフになります。	オン	D5	オフ: 無効にする
			D#5	オン: 有効にする
設定お知らせ音*	ボタンと鍵盤を使って設定をしたときに鳴るお知らせ音をオン/オフします。	オン	F5	オフ: 鳴らさない
			F#5	オン: 鳴らす

困ったときは

まず以下の内容をご確認ください。それでも解決しないときは、お買い上げの販売店、またはヤマハ修理ご相談センターへご連絡ください(29 ページ)。

症状	原因	対策
電源を入れたとき、または切ったときに「カチッ」や「ポツッ」と音がする。	電気が流れたため。	異常ではありません。
電源が入らない。	電源アダプターを正しく接続していない。	電源アダプターを DC IN 端子とコンセントに確実に差し込んでください(12 ページ)。または、新しい乾電池か充電済みの充電電池をご使用ください(12 ページ)。
	電池が入っていない、または消耗している。	
電源が突然切れる。	オートパワーオフ(25 ページ)が働いた。	オートパワーオフの設定を変更してください。
[Ⓛ](スタンバイ/オン)を押して電源を入れてもすぐに切れる。	付属以外の電源アダプターを使用している。	付属の電源アダプターをご使用ください(27 ページ)。
	電池が消耗している。	新しい乾電池か充電済みの充電電池、または電源アダプターをご使用ください(12 ページ)。
この製品から雑音が出る。	この製品の近くで携帯電話を使用している。	携帯電話の電源を切るか、この製品から離れてご使用ください。
	電池が消耗している。	新しい乾電池か充電済みの充電電池、または電源アダプターをご使用ください(12 ページ)。
音が小さい、またはまったく音が出ない。	音量が下がっている。	音量を上げてください(10 ページ)。
	[PHONES/OUTPUT]にヘッドホン、外部機器または変換プラグが接続されている。	ヘッドホン、外部機器または変換プラグを抜いてください(11 ページ)。
	ローカルコントロールがオフになっている。	ローカルコントロールをオンにしてください。ウェブサイト上の「MIDIリファレンス」(本書 3 ページで紹介)をご覧ください。
	電池が消耗している。	新しい乾電池か充電済みの充電電池、または電源アダプターをご使用ください(12 ページ)。
音がひずむ。	音量が大きすぎる。	音量を下げる(10 ページ)、または電池を使用している場合は、電源アダプターをご使用ください(12 ページ)。
ピアノ音色の音の高さ、音質が特定の音域でおかしい。	—	異常ではありません。ピアノ音色では、ピアノ本来の音をできる限り忠実に再現しようとしております。その結果、音域により倍音が強調されて聞こえるなど、音の高さや音域が異質に感じる場合があります。
ペダルが正しく動作しない。	ペダルコードのプラグを[SUSTAIN]に正しく接続していない。	ペダルコードのプラグを確実に差し込んでください(11 ページ)。
フットペダルまたはフットスイッチのオン/オフが逆になった。	フットペダルまたはフットスイッチを踏んだまま電源を入れた。	電源を切り、フットペダルまたはフットスイッチを踏まずに電源を入れ直してください(11 ページ)。
スマートデバイスアプリをこの製品と一緒に使用すると、この製品から雑音が出る。	—	スマートデバイスの機内モードをオンにしてご使用ください。

仕様

項目		NP-35		NP-15	
品名		電子キーボード			
サイズ/質量	寸法	1260 mm × 260 mm × 104 mm		1052 mm × 260 mm × 104 mm	
	質量	6.0 kg (電池除く)		5.2 kg (電池除く)	
操作子	鍵盤	鍵盤数	76		61
		鍵盤種	ボックス型 (グレードソフトタッチ)		ボックス型
		タッチ感度	ハード/メディアム/ソフト/固定		
	パネル	言語	英語		
音源/音色	音源	AWM ステレオサンプリング			
	ピアノ音源の効果	ダンパーレゾナンス	○		
	最大同時発音数	64			
	プリセット	音色数	15		
効果	タイプ	リバーブ	6 種類		
	ファンクション	デュアル	○		
		サウンドブースト	○		
録音/再生	プリセット	内蔵曲数	音色デモ曲 15 + ピアノデモ曲 10		
	録音	曲数	1		
		データ容量	約 7,000 音符		
	全体設定	メトロノーム	○		
		テンポ	32 ~ 280		
		トランスポーズ	-6 ~ 0 ~ +6		
		チューニング	414.8 Hz ~ 440.0 Hz ~ 466.8 Hz (約 0.2 Hz 単位)		
		オクターブシフト	-3 ~ 0 ~ +3		
USB オーディオインターフェース機能		44.1 kHz, 16 bit, ステレオ			
接続端子	DC IN	12 V			
	PHONES/OUTPUT	ステレオ標準フォーン端子 (6.35 mm, ヘッドホン/OUTPUT 兼用)			
	SUSTAIN	○ (フットペダル/フットスイッチは別売, FC3A 使用時はハーフペダル対応)			
	USB TO HOST	○ (MIDI/オーディオ)			
音響	アンプ出力	6 W × 2		2.5 W × 2	
	スピーカー	楕円 (12 cm × 8 cm) × 2			
電源部	電源	電源アダプター	PA-150B, またはヤマハ推奨の同等品 (出力: DC 12 V, 1.5 A)	PA-3C, またはヤマハ推奨の同等品 (出力: DC 12 V, 0.7 A)	
		電池	単 3 電池 (アルカリ乾電池 / 充電式ニッケル水素電池 / マンガン乾電池) × 6 (別売)		
	消費電力	11 W (電源アダプター PA-150B 使用時)		6 W (電源アダプター PA-3C 使用時)	
	電池寿命	アルカリ電池で約 11 時間, 充電式ニッケル水素電池で約 9 時間		アルカリ電池で約 13 時間, 充電式ニッケル水素電池で約 10 時間	
	オートパワーオフ	○			
付属品	取扱説明書: 本書、電源アダプター: PA-150B またはヤマハ推奨の同等品、製品登録のご案内、譲面立て			取扱説明書: 本書、電源アダプター: PA-3C またはヤマハ推奨の同等品、製品登録のご案内、譲面立て	
別売品	ヘッドホン: HPH-50/HPH-100/HPH-150, フットペダル: FC3A (ハーフペダル対応), フットスイッチ: FC4A/FC5, 電源アダプター: PA-150B またはヤマハ推奨の同等品、キーボードスタンド: L-2L/L-2C, ワイヤレス MIDI アダプター: UD-BT01			ヘッドホン: HPH-50/HPH-100/HPH-150, フットペダル: FC3A (ハーフペダル対応), フットスイッチ: FC4A/FC5, 電源アダプター: PA-3C またはヤマハ推奨の同等品、キーボードスタンド: L-2L/L-2C, ワイヤレス MIDI アダプター: UD-BT01	

※ 本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

索引

M

MIDI3, 24

R

Rec'n'Share21

U

UD-BT0121

V

[VOLUME](ボリューム)ダイヤル10

イ

移調(トランスポーズ)24, 25

オ

オーディオループバック24, 25

オートパワーオフ24, 25

オクターブシフト22, 23

音を重ねる(デュアル)17

音色14

音色デモ曲14

音色デモ曲リスト15

音色リスト15

コ

困ったときは26

コントロールチェンジ24

サ

サウンドブースト24, 25

シ

仕様27

上面10

初期化13

ス

スマートデバイスアプリ21

スマートピアニスト17, 21

セ

設定お知らせ音24, 25

タ

タッチ感度22, 23

ダンパーレゾナンス15, 22, 23

チ

チューニング24, 25

テ

デュアル17

電源アダプター12

電池12

テンポ(速さ)18, 19

ト

トランスポーズ(移調)24, 25

ハ

背面11

バックアップ13

速さ(テンポ)18, 19

ヒ

ピアノデモ曲16

拍子18, 19

フ

付属品3

フットスイッチ11

フットペダル11

譜面立て3

プログラムチェンジ24

ヘ

ヘッドホン11

メ

メトロノーム18, 19

リ

リバーブタイプ15, 22, 23

リバーブの深さ22, 23

ロ

ローカルコントロール24

録音20

録音曲の消去20

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げの販売店、または下記の修理ご相談センターへご連絡ください。

● 保証書

本書には保証書が掲載されています。
「販売店印・お買い上げ日」が記入されている場合は、記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。記入されていない場合は、購入を証明する書類（領収書、納品書など）とあわせて、大切に保管してください。

● 保証期間

保証書をご覧ください。

● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

有寿命部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げの販売店、または下記の修理ご相談センターにご相談ください。

有寿命部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ドラムパッドなど

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

● 修理のご依頼

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。
それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または下記の修理ご相談センターへご連絡ください。

● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

修理に関するお問い合わせ

修理ご相談センター

フリーダイヤル  0120-149-808

携帯電話、IP電話からは **050-3852-4106**

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00（祝日、センター指定休日を除く）
FAX 東日本（北海道／東北／関東／甲信越／東海）03-5762-2125
西日本（北陸／近畿／中国／四国／九州／沖縄）06-6649-9340

修理品お持込み窓口

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00（祝日、センター指定休日を除く）

* お電話は、修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 JMT 京浜E棟 A-5F FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター 〒556-0011 大阪市浪速区難波中1丁目13-17 ナンバ☆ビル 7F FAX 06-6649-9340

*名称、住所、電話番号、営業時間などは変更になる場合があります。

この製品の仕様や取り扱いに関するお問い合わせ

ご購入の特約店または下記のお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

お客様コミュニケーションセンター 電子ピアノ・キーボードご相談窓口

フリーダイヤル  **0120-139-808**

携帯電話、IP電話からは **050-3852-4079**

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00 (祝日、センター指定休日を除く)
<https://jp.yamaha.com/support/>



ヤマハ 楽器音響製品お客様サポートLINE公式アカウント
受付 月曜日～金曜日 10:00～16:00 (祝日、センター指定休日を除く)

ウェブサイトのご案内

- ・ヤマハ株式会社のホームページ <https://jp.yamaha.com/>
- ・ヤマハ エレクトーン・キーボードサイト <https://jp.yamaha.com/kbd/>
- ・ヤマハ サポート・お問い合わせ <https://jp.yamaha.com/support/>
- ・ヤマハミュージックデータショップ <https://yamhamusicdata.jp/>

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中央区中沢町 10-1

*名称、住所、電話番号、営業時間などは変更になる場合があります。

保証規定と保証書

保証規定

保証期間中、正常なご使用状態のもとで万一発生した故障につきましては、無料修理致します。

●保証書のご使用法

- 保証期間内に万一本製品が故障した場合には、お買い上げの販売店にご依頼の上、修理に際して本書をご提示ください。

●保証期間中でも次の場合は有料となります。

- 納品後、輸送・移動時のお取扱いが適当でないために生じた故障・損害の場合。
- 取扱説明書に記載の注意事項に反するお取扱いによって発生した故障の場合。
- 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
- 塗装面及び金属面が経年変化により退色、変色した場合。
- 弊社関係のサービスマン以外の方が修理・改造された部分で、その修理改造が不適当であった場合。
- 火災・地震・水害・落雷、その他の天災及び公害や電圧異常による故障、損傷の場合。
- 鼠害、塩害等による故障、損傷の場合。
- 本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合。あるいは字句を書替えられた場合。
- 本書のない場合。又、ご提示のない場合。
- お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。

●転居の場合等

- 転居、ご贈答品等で、本書に記入してあるお買い上げ販売店に修理をご依頼できない場合には、本書に記載の修理ご相談センターにご相談ください。
- 離島及び離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間内に、本製品を他人に譲渡あるいは転売された場合に於ても、残存期間は保証致します。
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only within Japan.)
- 保証期間の1年が過ぎましても、サービスは有料にて責任を持って実施させていただきます。
- 本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

従って本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店もしくは本書に記載の修理ご相談センターにお問い合わせください。



[持込修理用]

ヤマハ 電子キーボード保証書

MODEL NP-35/NP-15

この度はヤマハ電子キーボードをお買い上げいただきましてありがとうございました。
本書は下記の保証規定により無料修理を行なうことをお約束するものです。
お買い上げの日から右記期間中に万一故障が発生した場合は製品に本書を添えて
お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

ご住所	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>
お電話	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>
お名前	<input type="text"/>		

* この保証書にご記入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの情報は、
本保証規定に基づき無料修理に関する場合のみ使用いたします。

修理ご相談センター

フリーダイヤル



0120-149-808

携帯電話、IP 電話からは

050-3852-4106

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00 (祝日、センター指定休日を除く)

製造番号	<input type="text"/>		
お買い上げ日	年 月 日		
保証期間	本体 電源アダプター	お買い上げの日から一年間	
販売店名	<input type="text"/>		
(所在地)			
<input type="text"/>			
(電話)		(扱者名)	

株式会社ヤマハミュージックジャパン

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい5丁目1番2号
横浜シンフォステージ ウェストタワー

保証書 2/2

© 2023 Yamaha Corporation

2024年12月 発行

IITY-B0



VFX0450